

○令和4年7月、8月の大雨により、特に甚大な浸水被害が発生した水系において、再度災害防止の観点から、河川改修や下水道整備に加え、貯留浸透機能の確保や特定都市河川制度を活用した土地利用規制の検討・推進などの流域での取組が一体となった対策を実施・進捗管理する『緊急治水対策プロジェクト※』に着手します。

**④ 山形県 最上川水系（最上川、小白川、救生川等）**

- 事業期間：令和4～7年度
- 事業費：約102億円（国、県）
- 対策内容

<ハード対策>

- ・河道掘削、堤防整備、内水調整池の整備、田んぼダムの推進 等

<ソフト対策>

- ・災害リスクの低い地域への居住誘導 等
- ・避難確保計画作成支援、防災ラジオ普及、マイ・タイムライン普及促進、災害情報ツール多重化 等

令和4年8月の大雨  
山形県大江町

**⑤ 新潟県 荒川水系（烏川、春木山大沢川等）**（県管理区間のみ）

- 事業期間：令和4～8年度
- 事業費：約92億円（国、県）
- 対策内容

<ハード対策>

- ・河道拡幅、二線堤整備、輪中堤整備 等
- ・雨水幹線の整備・検討、田んぼダムの推進

<ソフト対策>

- ・リスクが高い区域における土地利用規制（浸水被害防止区域、災害危険区域等）
- ・流域タイムラインの運用開始、コミュニティタイムラインの策定

令和4年8月の大雨  
新潟県村上市

**⑥ 石川県 橋川水系（橋川、鶴谷川、津上川等）**

- 事業期間：令和4～13年度
- 事業費：約343億円（国、県）
- 対策内容

<ハード対策>

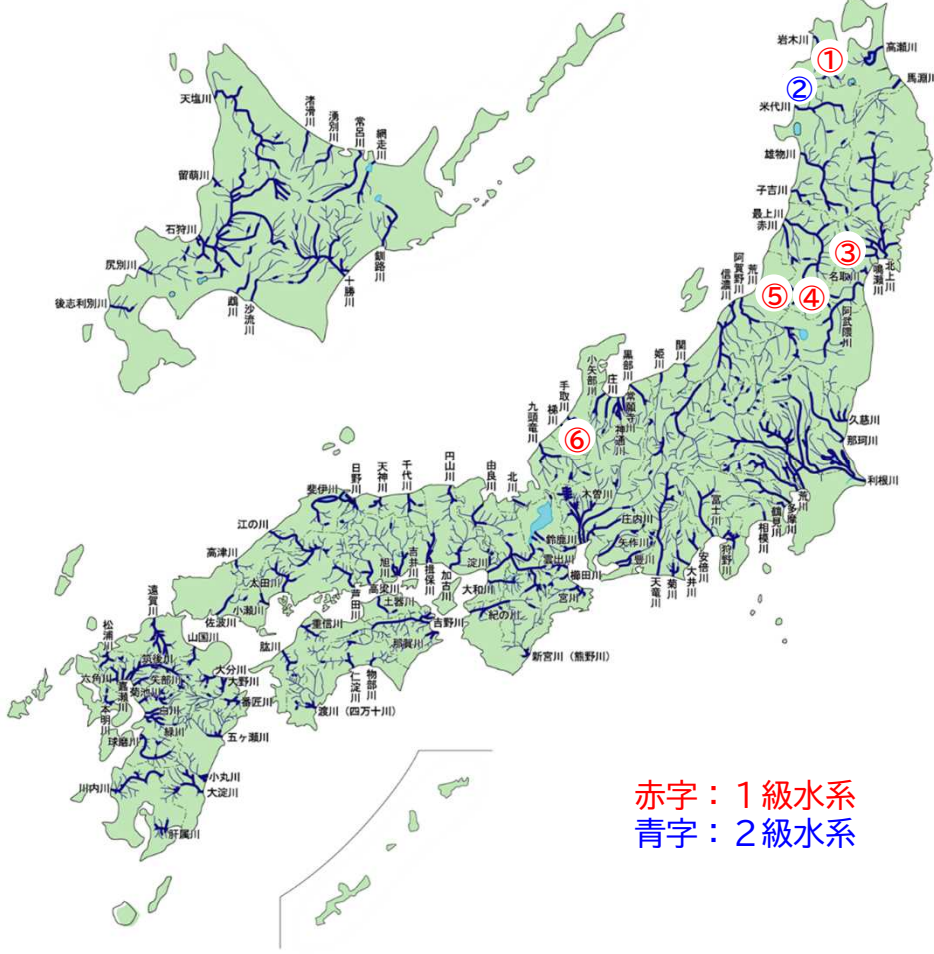
- ・引堤、河道掘削、遊水地、ポンプ場の増強、ダムの事前放流 等

<ソフト対策>

- ・土地利用規制（浸水被害防止区域、災害危険区域等）、居住誘導 等
- ・流域タイムライン運用、防災アプリ開発、災害時の情報共有（Web） 等

令和4年8月の大雨  
石川県小松市

※大きな被害が生じた被災地域等を対象に、国、県、関係市町村が連携して流域治水プロジェクトの一部を加速化・強化し、再度災害防止に向け、短期的、集中的に取り組む治水対策をまとめたもの



**① 青森県 岩木川水系（岩木川等）**

- 事業期間：令和4～6年度
- 事業費：約84億円（国、県）
- 対策内容

<ハード対策>

- ・河道掘削、堤防嵩上げ、下水道整備（雨水幹線） 等

<ソフト対策>

- ・災害リスクの低い地域への居住誘導 等
- ・広域避難体制の構築、水防計画見直し、防災マップ作成 等

令和4年8月の大雨  
青森県鶴田町・宇風崎町・保安町

**② 青森県 中村川水系（中村川等）**

- 事業期間：令和4～8年度
- 事業費：約66億円（県）
- 対策内容

<ハード対策>

- ・築堤、河道掘削、橋梁架替、雨水排水、貯留浸透施設、水田貯留検討 等

<ソフト対策>

- ・土地利用規制（災害危険区域等）、居住誘導、住まい方の工夫
- ・浸水想定区域、ハザードマップ、タイムライン、水防体制の強化 等

令和4年8月の大雨  
青森県鯉ヶ沢町

**③ 宮城県 瀾瀬川水系（多田川、大江川、名蓋川等）**

- 事業期間：令和4～8年度
- 対策内容

<ハード対策>

- ・河道掘削、堤防強化、排水機場整備 等
- ・水田貯留の推進

<ソフト対策>

- ・居住誘導区域内における浸水被害軽減のための宅地嵩上げ支援
- ・簡易型監視カメラ、危機管理型水位計の充実
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画の促進

※事業費は、名蓋川の災害復旧事業の採択後に追加を予定しています。

令和4年7月の大雨  
宮城県大崎市・加美町

※上記のほか、九頭竜川水系鹿蒜川（福井県）についても災害復旧事業の採択後に詳細を公表予定

# 岩木川中流・上流 緊急治水対策プロジェクト

令和4年度～令和6年度

～流域のあらゆる関係者が協働し、津軽の人々の「いのちとくらし」を守る治水対策の推進～

- 岩木川流域では、国、青森県、市町村等が連携し、「岩木川水系流域治水プロジェクト」を進めているところであるが、令和4年8月9日からの大雨により、弘前市、板柳町、藤崎町の沿川約6.4kmにわたって計画高水位を超過し、堤防決壊リスクが高まり、内水等による浸水被害が発生したことから、以下の対策を実施する。
  - ・国、県は岩木川本川、支川の災害復旧、河道掘削、堤防のかさ上げ等の対策を集中的に実施し、同規模の洪水に対して氾濫を防止する。
  - ・弘前市では、立地適正化計画に基づく安全な場所への居住誘導、板柳町、藤崎町は、下水道整備等を行い、浸水被害の軽減を図る。
- 更に「流域治水」の深化に向けて、特定都市河川制度(特定都市河川の指定)を活用した取組を推進していく。

- 事業期間 令和4年度～令和6年度
- 事業費 約84億円【国:約62億円、県:約22億円】
- 目標 令和4年8月と同規模の洪水を安全に流下させ、内水による浸水被害の軽減を図る。

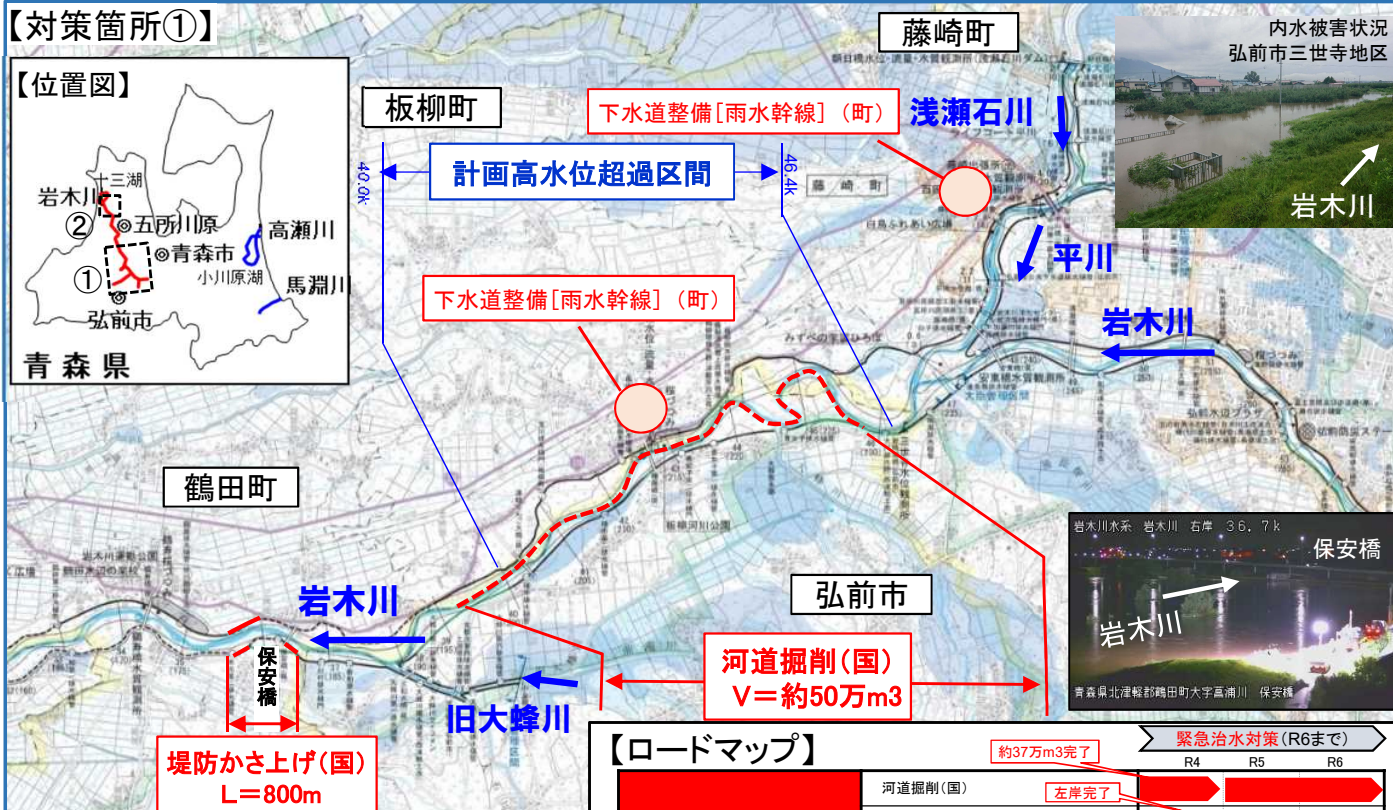
- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
  - 河川区域での対策
    - ・岩木川における河道掘削、堤防かさ上げの実施【国】
    - ・災害復旧【県】
  - 集水域での対策
    - ・内水被害軽減策として下水道整備(雨水幹線)を実施【板柳町、藤崎町】

- 被害対象を減少させるための対策
  - 氾濫域での対策
    - ・立地適正化計画に基づく安全な場所への居住誘導等【弘前市】

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
  - 氾濫域での対策
    - ・広域避難体制の構築、水防計画の見直し、総合的な防災マップの作成【弘前市、板柳町】
    - ・洪水ハザードマップを活用した講習会、緊急速報メール等による情報提供、防災アプリの整備、防災教育の実施【弘前市、板柳町】

## 【対策箇所①】

### 【位置図】



## 【対策箇所②】



※災害復旧箇所は、代表箇所を表示している。

## 【ロードマップ】

対策内容	緊急治水対策 (R6まで)		
	R4	R5	R6
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削(国) 左岸完了	堤防かさ上げ(国) 右岸地区	災害復旧(国) 災害復旧完了
被害対象を減少させるための対策	災害復旧(堤防整備)(県)	災害復旧(県)	下水道整備(板柳町、藤崎町)
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	水害リスク情報の充実と普及	
流域治水関連法を活用した実効性の確保	特定都市河川の指定	流域水害対策計画の作成	特定都市河川の指定

※具体的な対策内容やスケジュールについては、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

# 中村川 緊急治水対策プロジェクト

～流域の関係者が連携し、土地利用を踏まえた令和4年8月豪雨の再度災害防止対策の推進～

○中村川流域では、青森県、鯉ヶ沢町等が連携し、「流域治水プロジェクト」を進めているところであるが、令和4年8月の大雨により、町の市街地において367戸の家屋浸水被害が生じたことから、以下の対策を実施し、水害に強いまちづくりを目指す。

- ・県は、築堤、河道掘削、橋梁架替等の治水対策を概ね5年で緊急的に実施し、同規模の洪水に対して氾濫を防止。
- ・町は、雨水貯留等により内水被害軽減を図るとともに、浸水リスクを踏まえた土地利用規制等に取り組む。

- 事業期間 令和4年度～令和8年度
- 事業費 約66億円【県：約66億円】
- 目標 令和4年8月と同規模の洪水における氾濫防止、内水等の家屋浸水被害の軽減。

## ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### ○河川区域での対策

- ・中村川下流部における築堤、河道掘削、橋梁架替、災害復旧等の実施【県】

### ○集水域での対策

- ・内水被害軽減として、雨水排水、貯留・浸透施設等の整備【町】
- ・水田貯留の実施に向けた調整・検討【県・町】

## ■被害対象を減少させるための対策

### ○氾濫域での対策

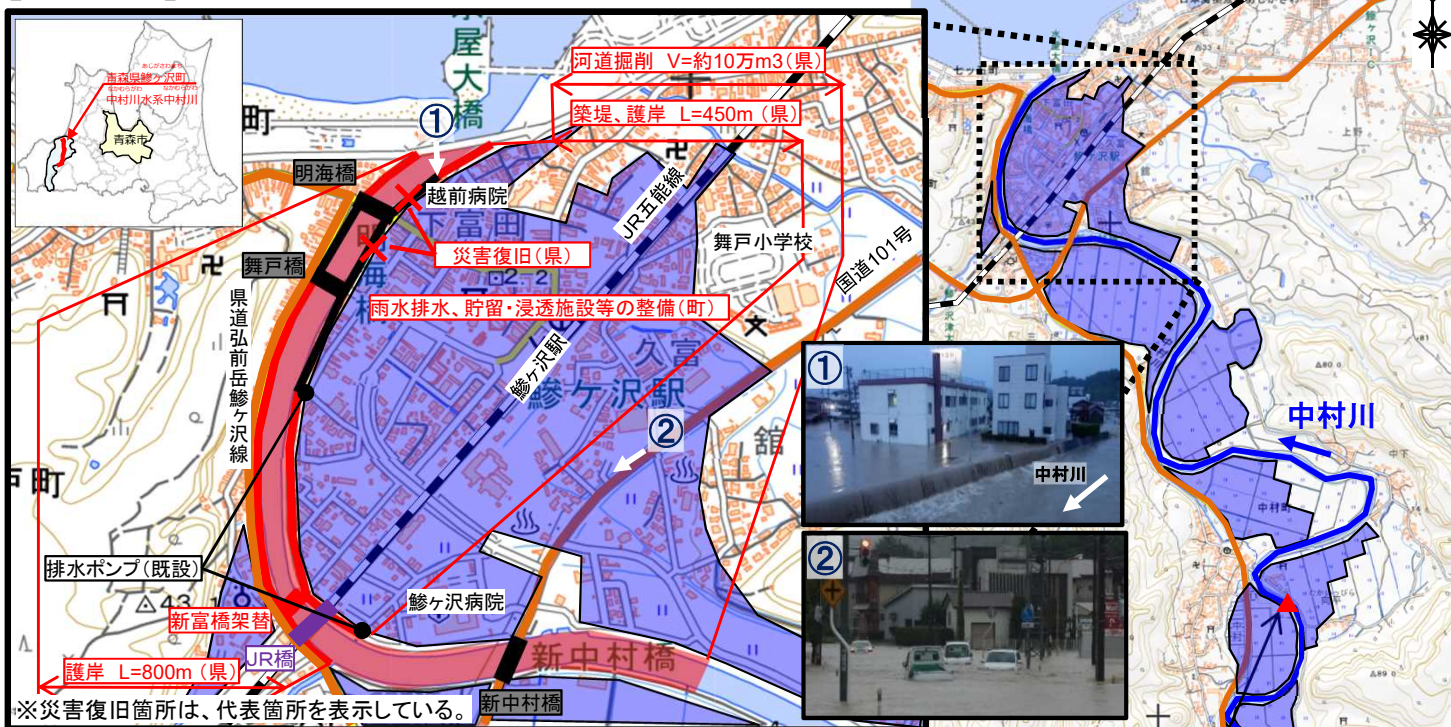
- ・土地利用規制(災害危険区域の指定等)・居住誘導・住まい方の工夫【町】

## ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

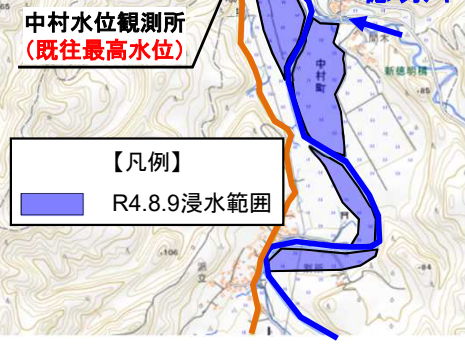
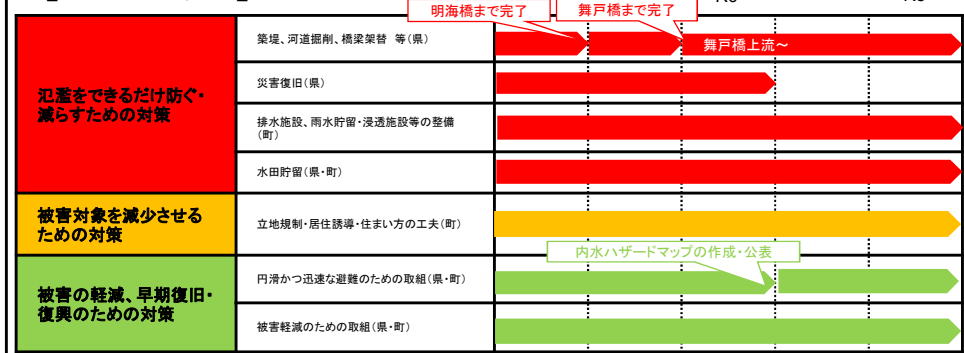
### ○氾濫域での対策

- ・円滑かつ迅速な避難のための取組(浸水想定区域・ハザードマップ、ホットライン・タイムライン、防災教育等)【県・町】
- ・被害軽減のための取組(水防体制の強化、町庁舎等の機能確保等)【県・町】

## 【対策箇所】



## 【ロードマップ】



# 鳴瀬川水系(多田川流域) 緊急治水対策プロジェクト

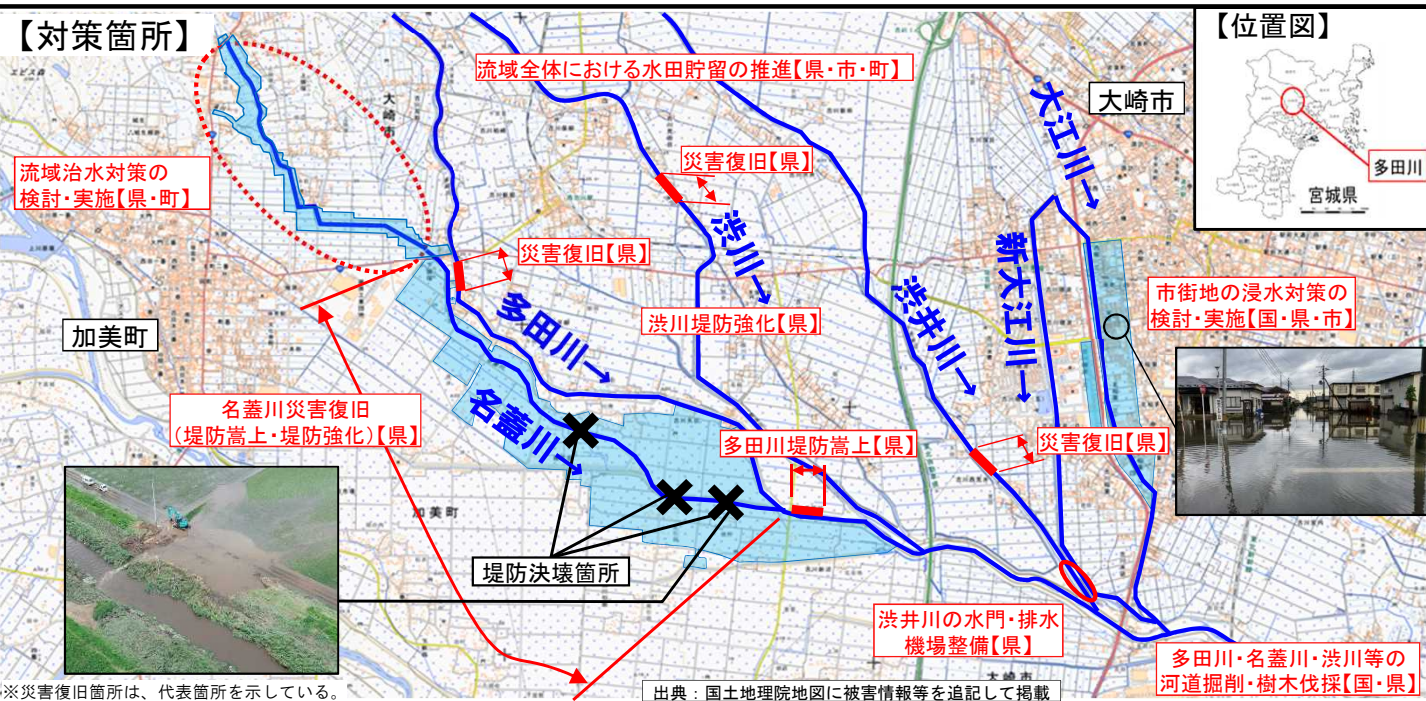
令和4年度～令和8年度

～流域のあらゆる関係者が協働し、大崎耕土や市街地の流域治水対策を推進～

- 多田川流域を含む鳴瀬川流域では、国・宮城県・市町村等が連携し、「流域治水プロジェクト」を進めているところであるが、令和4年7月15日からの大雨により、名蓋川の決壊をはじめ、大江川の浸水被害等が発生したことから、「多田川流域緊急治水対策プロジェクト」を策定し、以下の対策を実施する。
  - ・県では、名蓋川の堤防嵩上・堤防強化及び多田川の堤防嵩上等の対策を早期に実施し、同規模の洪水に対して家屋浸水被害を防止する。
  - ・国・県・大崎市では、市街地の浸水対策を検討・実施し、県・加美町では、名蓋川上流で流域治水対策の検討・実施し、浸水被害の軽減を図る。
- 「流域治水」の深化に向けて、特定都市河川制度(特定都市河川の指定)を活用した取組を推進していく。

**■事業期間** 令和4年度～令和8年度  
**■目標** 令和4年7月と同規模の洪水による浸水被害を軽減。  
 ※事業費は、名蓋川の災害復旧事業の採択後に追加を予定しています。国・県・市町の事業内容は、現時点で確定している事業箇所のみ記載しているため、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- 河川区域での対策
    - ・名蓋川の災害復旧(堤防嵩上・堤防強化)及び多田川の堤防嵩上、渋川の堤防強化【県】
    - ・多田川・渋井川・渋川等の災害復旧【県】
    - ・渋井川の水門・排水機場整備【県】
    - ・多田川・名蓋川・渋川等の河道掘削、樹木伐採【国・県】
  - 集水域での対策
    - ・市街地の浸水対策の検討・実施【国、県、大崎市】
    - ・名蓋川上流の流域治水対策(河川の局部改良、家屋浸水被害対策、流出抑制対策)の検討・実施【県・加美町】
    - ・流域全体における水田貯留の推進【県・大崎市・加美町】



- 被害対象を減少させるための対策**
- 氾濫域での対策
    - ・居住誘導区域内における浸水被害軽減の宅地嵩上げ支援【大崎市】
    - ・立地適正化計画(防災指針)の作成による水害リスクの低減や既成市街地の防災力向上【大崎市】

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- 氾濫域での対策
    - ・簡易型監視カメラ・危機管理型水位計の設置【国・県】
    - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の促進【大崎市・加美町】

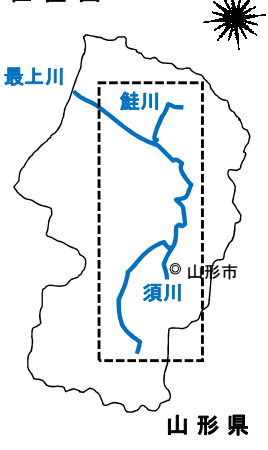
**【ロードマップ】** ※具体的な対策内容やスケジュールについては、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

	R4	R5	R6	R7	R8	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	名蓋川の災害復旧(堤防嵩上・堤防強化)及び多田川の堤防嵩上、渋川の堤防強化【県】	[進捗バー]				
	多田川・渋井川・渋川等の災害復旧【県】	[進捗バー]				
	渋井川の水門・排水機場整備【県】	[進捗バー]				
	多田川・名蓋川・渋川等の河道掘削、樹木伐採【国・県】	[進捗バー]				
	市街地の浸水対策の検討・実施【国・県・大崎市】	[進捗バー]				
被害対象を減少させるための対策	名蓋川上流の流域治水対策の検討・実施【国・加美町】	[進捗バー]				
	流域全体における水田貯留の推進【県・大崎市・加美町】	[進捗バー]				
	居住誘導区域内における浸水被害軽減の宅地嵩上げ支援【大崎市】	[進捗バー]				
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	立地適正化計画(防災指針)の作成による水害リスクの低減や既成市街地の防災力向上【大崎市】	[進捗バー]				
	簡易型監視カメラ・危機管理型水位計の設置【国・県】 要配慮者施設の避難確保計画の促進【大崎市・加美町】	[進捗バー]				
流域治水関連法を活用した実効性の確保	特定都市河川制度を活用した取組					

# 最上川水系 緊急治水対策プロジェクトの全体像

- 令和4年8月出水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、置賜地域において国、山形県、市町等が連携し、河道掘削、堤防整備、調整池等の取組を集中的に実施し、流域における浸水被害の軽減を図ります。
- 令和2年7月豪雨を踏まえ進めている最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクトの着実な推進を図ります。
- 「流域治水」の深化に向けて、特定都市河川制度（特定都市河川の指定）を活用した取組を推進していきます。

## 位置図



### ■被害対象を減少させるための対策

- 氾濫域での対策
  - ・災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導
  - ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）
  - ・雪対策と連携した氾濫被害の軽減（高床住宅等）

### ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 氾濫域での対策
  - ・水害リスク空白域の解消
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
  - ・流域自治体との洪水対応演習
  - ・メディアと連携による洪水情報の提供
  - ・広域連携による避難体制の強化
  - ・民間企業と連携した避難体制の強化
  - ・水防拠点の拡張・増設
- 危機管理型水位計の設置
- R2.7出水の課題を受けたタイムラインの改善
- 講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
- まるごとまちごとハザードマップの促進
- 避難所等への避難通路等の確保
- 市町村庁舎等防災拠点の機能確保
- 河道掘削土を活用した水防災拠点（兼避難場所）の整備

### ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河川区域での対策
  - ・河道掘削、堤防整備等
  - ・貯留機能を活用した遊水地等の検討
- 【令和2年7月豪雨対応】
  - 全体事業費 約656億円
  - 事業期間 令和2年度～令和11年度
- 【令和4年8月洪水対応】
  - 全体事業費 約102億円
  - 事業期間 令和4年度～令和7年度
- 集水域での対策
  - ・内水調整池、砂防堰堤等の整備
  - ・雨水幹線の整備、貯留管
  - ・利水ダム等25ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、山形県、東北電力(株)、土地改良区など）
  - ・森林整備・治山対策・水田貯留（田んぼダム）・ため池の保全
  - ・農業用排水機場等の整備
  - ・下水道施設（処理場等）の耐水化
  - ・一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留施設の設置

## 令和2年7月豪雨を踏まえた対応(村山地域) 令和3年1月着手 着実な推進

## 令和4年8月洪水を踏まえた対応(置賜地域) 今回追加 区間延伸

- 凡例
- 令和2年7月出水浸水範囲
  - 令和4年8月出水浸水範囲
  - 大臣管理区間



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

# 最上川上流(置賜地域)緊急治水対策プロジェクト

令和4年度～令和7年度  
【今回追加分】

～地域特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

○最上川流域では、国、山形県、市町村等が連携して「最上川水系流域治水プロジェクト」を進めているところであるが、令和4年8月3日からの大雨により置賜地域の川西町、南陽市、白鷹町の沿川約8kmにわたって計画高水位を超過し、堤防の決壊リスクが高まり、内水等による浸水被害が発生したことから、以下の対策を実施する。

- ・国、県は最上川本川、支川の災害復旧、河道掘削を集中的に実施し、同規模の洪水に対して氾濫を防止する。
- ・川西町は準用河川の堤防整備、河道掘削、高畠町は内水調整池整備、居住誘導等を実施し、浸水被害の軽減を図る。

■事業期間 令和4年度～令和7年度

■事業費 約102億円

【国:約21億円、県:約81億円】

■目標 令和4年8月出水と同規模の洪水を安全に流下させ、内水等の浸水被害の軽減を図る。

## ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川区域での対策

- ・災害復旧※、白鷹地区・川西南陽地区で河道掘削を実施【国】  
※最上川上流の全域を対象
- ・災害復旧、河道掘削等【県】

○集水域での対策

- ・内水調整池の整備【高畠町】
- ・準用河川の堤防整備及び河道掘削【川西町】
- ・田んぼダムの推進【長井市他】

## ■被害対象を減少させるための対策

○氾濫域での対策

- ・立地適正化計画の作成及び立地適正化計画に基づく安全な場所への居住誘導等【高畠町】

## ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○氾濫域での対策

- ・避難確保計画作成支援【米沢市他】
- ・まるごとまちごとハザードマップの促進、マイ・タイムラインの普及促進【長井市他】
- ・防災ラジオの普及、災害情報ツールの多重化【南陽市他】

### 【対策箇所】

位置図



【R4. 8最上川沿いにおける内水浸水面積】  
A=438ha



河道掘削(国)  
V=約12万m<sup>3</sup>

河道掘削(国)  
V=約2万m<sup>3</sup>

内水調整池(町)  
V=2,000m<sup>3</sup>

準用河川(万福寺川)の堤防整備(町)

準用河川(鬼神川)等の掘削(町)



支川の掘削等(県)

災害復旧(県)

災害復旧(河道整備)(県)



※災害復旧箇所は、代表箇所を表示している。

### 【ロードマップ】

		緊急治水対策(R7まで)			
		R4	R5	R6	R7
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削(国)	約14万m <sup>3</sup> 完了			
	河道掘削等(県)	浸水箇所、支川の掘削等完了			
	災害復旧(国)※最上川上流の全域を対象	災害復旧完了			
	災害復旧(河道整備)(県)				
	災害復旧(県)				
被害対象を減少させるための対策	内水調整池、準用河川の堤防整備等(町)				
	立地適正化計画の作成による安全な場所への居住誘導等【高畠町】	計画作成(R4)			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化				
	水害リスク情報の充実と普及				

※具体的な対策内容やスケジュールについては、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

# 荒川水系緊急治水対策プロジェクト(烏川・春木山大沢川)

令和4年度～令和8年度

～流域の関係者が連携し、土地利用を踏まえた流域治水対策を推進～

○荒川流域では、国・新潟県・市町村等が連携して「荒川水系流域治水プロジェクト」を進めているところであるが、令和4年8月の豪雨により、特に支川の烏川・春木山大沢川の溢水等により、甚大な被害が発生したことを踏まえて、以下の対策を実施する。

- ・県では、烏川・春木山大沢川において河道拡幅や二線堤・輪中堤整備等を実施し、河川の氾濫による家屋浸水被害を防止する。
- ・市では、雨水幹線整備を重点化・加速化して実施し、被害の軽減を図る。

○更に、田んぼダム取り組みの推進とともに、浸水リスクの高い地域では、流域治水関連法等を活用し、土地利用規制等を検討・実施する。

■事業期間 令和4年度～令和8年度

■事業費 約92億円【県:約92億円】

■目標 令和4年8月出水と同規模の洪水に対し、浸水被害の軽減を図る。

## ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川における対策

- ・災害復旧(河道拡幅、二線堤整備、輪中堤整備等)【新潟県】

○集水域における対策

- ・雨水幹線の整備・検討【村上市】
- ・田んぼダムの取り組み推進【新潟県・村上市・土地改良区】

## ■被害対象を減少させるための対策

○氾濫域における対策

- ・多段階な浸水リスク情報の充実【国交省・新潟県】
- ・雨水排水計画の検討【村上市】
- ・リスクが高い区域における土地利用規制(災害危険区域等)【新潟県・村上市】

## ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○氾濫域における対策

- ・流域タイムラインの運用開始【国交省・新潟県・村上市・新潟地方气象台】
- ・総合防災訓練の実施【村上市】
- ・水害リスク空白域の解消【新潟県・村上市】
- ・雨水出水浸水想定区域図、内水ハザードマップの作成【村上市】
- ・気象情報の充実、予測精度の向上【新潟地方气象台】



【ロードマップ】

区分	対策内容・実施主体	工程(R4～R8)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅・国道7号橋架替【新潟県】	下流区間
	災害復旧(河道拡幅、二線堤整備、輪中堤整備等)【新潟県】	上流区間
	雨水幹線の整備・検討【村上市】	R6 烏川1-3号雨水幹線完了
	田んぼダムの取り組み推進【新潟県・村上市・土地改良区】	
被害対象を減少させるための対策	【国交省・新潟県・村上市】	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	【新潟県・村上市】	R6 流域タイムライン運用開始
流域治水関連法の活用を検討	流域治水関連法の活用検討	

# 梯川 緊急治水対策プロジェクト

令和4年度～令和13年度

～流域のあらゆる関係者の協働による、本川支川一体となった流域治水対策の推進～

○梯川流域では、国、県、市町村等が連携して「梯川水系流域治水プロジェクト」を進めているところであるが、令和4年8月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、以下の対策を実施する。

- ・国、石川県は、河道掘削、引堤、遊水地整備等の対策を集中的に実施し、同規模の洪水に対して氾濫を防止する。
- ・小松市、能美市は、雨水貯留施設の整備、排水ポンプの増強等を実施し、流域における浸水被害の軽減を図る。

○更に、浸水リスクの高い地域では、流域治水関連法等を活用し、土地利用規制等を検討・実施する。

■事業期間 令和4年度～令和13年度

■事業費 全体事業費 約343億円  
【国:約272億円、県:約71億円】

■目標 令和4年8月出水と同規模の洪水に対し、浸水被害の軽減を図る。

## ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### ○河川における対策

- ・災害復旧、河道掘削、引堤、堤防整備、横断工作物改築（橋梁改築）、河道拡幅、遊水地整備等【国、県】
- ・赤瀬ダムの事前放流の実施、木場潟の事前排水の実施・体制構築【国、県】

### ○集水域での対策

- ・砂防関係施設の整備（湊上川上流）【県】
- ・治山施設整備及び森林整備の実施（湊上川上流）【県】
- ・農地、農業水利施設の活用（ため池事前放流等）【県】
- ・排水ポンプ場の増強（九竜橋川排水機場）【小松市】
- ・排水路改修・雨水貯留施設整備（石橋川遊水地）【小松市】
- ・雨水排水計画の検討【小松市】
- ・農業排水施設の機能保全対策【小松市】
- ・水田貯留機能（田んぼダム）の検討【小松市、能美市】等

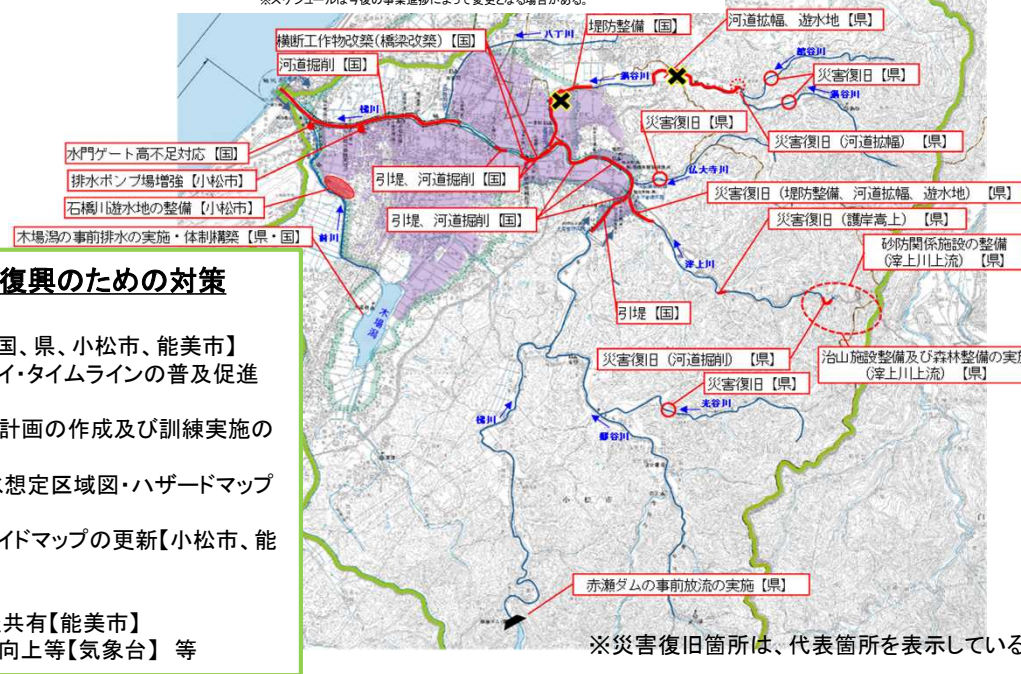
## ■被害対象を減少させるための対策

### ○氾濫域における対策

- ・多段階な浸水リスク情報の充実【国・県】
- ・総合治水対策の推進に関する条例【小松市】
- ・住宅地盤の嵩上げ、雨水貯留槽等設置に対する助成【小松市、能美市】
- ・立地適正化計画（防災指針）の策定による水害リスクの低い地域への居住誘導や既存市街地の防災力向上【小松市、能美市】
- ・リスクが高い区域における土地利用規制（災害危険区域等）【小松市、能美市】等

## 【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程 (R4～R13)		
			R4～R6 【第一段階】	R7～R10 【第二段階】	R11～R13 【第三段階】
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	災害復旧	国土交通省	実施		
	災害復旧	石川県	実施		
	梯川 河道掘削(下流区間)	国土交通省	実施		
	梯川 引堤・河道掘削	国土交通省	R6藤谷川合流点まで	R7木田火場まで	R10の森川まで
	梯川 横断工作物改築(橋梁改築)	国土交通省	R5赤瀬ダム	R9赤瀬ダム	
	梯川 水門ゲート高不足対応(梯川逆水門)	国土交通省	実施		
	鏡谷川 堤防整備(昔水区間)	国土交通省	実施		
	鏡谷川 河道拡幅、遊水地	石川県	実施		
	鏡谷川 災害復旧(河道拡幅)	石川県	実施		
	湊上川 災害復旧(堤防整備、河道掘削、河道掘削、護岸嵩上、遊水地)	石川県	実施		
	赤瀬ダムでの事前放流の実施、木場潟での事前排水の体制構築	石川県、国土交通省、農林水産省	実施		
	砂防関係施設の整備(湊上川上流)	石川県	実施		
	治山施設整備及び森林整備の実施(湊上川上流)	石川県	実施		
	農地、農業水利施設の活用	石川県	実施		
	排水ポンプ場の増強(九竜橋川排水機場)	小松市	実施		
排水路改修・雨水貯留施設整備(石橋川遊水地)	小松市	実施			
水田貯留機能(田んぼダム)の検討	小松市、能美市	実施			
被害対象を減少させるための対策	国土交通省、石川県、小松市、能美市	実施			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	国土交通省、石川県、小松市、能美市、金沢地方気象台	実施			
流域治水関連法の活用を検討	国土交通省、石川県、小松市、能美市	実施			



## ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

### ○氾濫域における対策

- ・流域タイムラインの運用開始【国、県、小松市、能美市】
- ・自治体タイムラインの充実、マイ・タイムラインの普及促進【国、県、小松市、能美市】
- ・要配慮者施設等における避難計画の作成及び訓練実施の促進【国、県、小松市、能美市】
- ・水害リスク空白域の解消(浸水想定区域図・ハザードマップの公表)【県、小松市、能美市】
- ・地域防災計画の改定、防災ガイドマップの更新【小松市、能美市】
- ・防災アプリの開発【小松市】
- ・WEBを活用した災害時の情報共有【能美市】
- ・気象情報の充実、予報精度の向上等【気象台】等

※災害復旧箇所は、代表箇所を表示している。



# (参考) 現在実施中の緊急治水対策プロジェクト

